

インドキシル硫酸測定試薬「ニプロ」

【全般的な注意】

1. 本キットは研究用試薬です。診断目的には使用しないでください。
2. インドキシル硫酸標準液にはヒト血清アルブミンが含まれています。検査（HIV-1/HIV-2 抗体、HBsAg、HCV 抗体）により HIV、HBV、HCV の陰性を確認していますが、その存在を完全には否定できません。又それ以外の感染性物質については確認していませんので、感染の危険性を考慮して取扱ってください。
3. 本製品には、保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれていますので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着したりした場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けてください。

【使用目的】

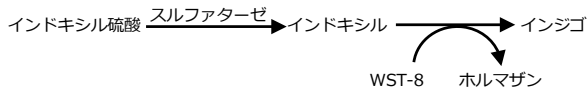
人の血清又は血漿中のインドキシル硫酸の測定

【形状・構造等（キットの構成）】

R1：基質液（WST-8）
R2：酵素液（スルファターゼ）
インドキシル硫酸標準液：インドキシル硫酸溶液

【測定原理】

検体中のインドキシル硫酸は、スルファターゼの作用によりインドキシルとなります。生成したインドキシルは WST-8 と反応し、ホルマジン色素が発生します。このホルマジン色素による 450nm の吸光度変化からインドキシル硫酸濃度を算出します。



【操作上の注意】

測定試料の性質、採取法

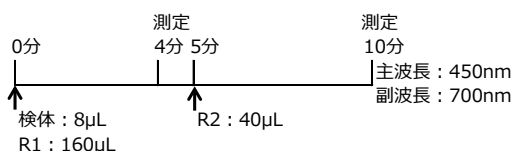
1. 検体には、血清、EDTA 加血漿、ヘパリン加血漿又はクエン酸加血漿をご使用ください。
2. 不溶物を含む検体は遠心分離又はろ過により除去した後、使用してください。

【用法・用量（操作方法）】

試薬の調製方法

R1、R2、インドキシル硫酸標準液：そのまま使用します。

測定（操作）法



1. 検体：8μL と R1：160μL を混和し、37°C で 5分(0-5分) 反応します。このとき 4分後の吸光度 A1（主波長 450nm、副波長 700nm）を測定します。

2. 次に R2：40μL 加え、37°C で 5分(5-10分)反応します。10分後の吸光度 A2（主波長 450nm、副波長 700nm）を測定します。

算出法

1. 生理食塩水、インドキシル硫酸標準液、検体について ΔA を計算します。

$$\Delta A = A2 - A1 \times 168 / 208$$

2. 以下の式から検体中のインドキシル硫酸濃度を計算します。

$$\text{インドキシル硫酸濃度}(\mu\text{mol/L}) = \frac{\Delta A_s - \Delta A_b}{\Delta A_{\text{std}} - \Delta A_b} \times \text{インドキシル硫酸標準液濃度}$$

ΔA_b ：生理食塩水での ΔA

ΔA_{std} ：インドキシル硫酸標準液での ΔA

ΔA_s ：検体での ΔA

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 検体は HIV、HBV、HCV 等の感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。
2. 本キットは貯蔵方法に従って保存し、ラベル記載の使用期限内に使用してください。
3. 異なるロットの試薬は混合しないでください。又、検量線作成と検体測定は同一条件で行ってください。
4. 検体と接触した試薬及び試験器具等は、感染の危険性のあるものとして処理してください。
5. 廃棄に際しては廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び排水基準に従って適切に処理してください。
6. R1、R2、インドキシル硫酸標準液には、アジ化ナトリウムが含まれています。アジ化ナトリウムは、爆発性の強い金属アジドを生成することがありますので、廃棄は大量の流水で行ってください。

【貯蔵方法、有効期間】

貯蔵方法：2~10 °C

有効期間：12 ヶ月

【包装単位】

R1：20mL × 1 本

R2：5mL × 1 本

インドキシル硫酸標準液：2mL × 1 本

【問い合わせ先】

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部
大阪市北区本庄西3丁目9番3号
TEL 06-6373-3168